



# 過激性教育やめて

保護者ら 都教育長に調査要請  
150人集会

都立七生養護学校（日野市）などで行われた性器付き人形などを使った

過激な性教育を教育現場からなくそうと、都議や教員、父母らによる「都

民集会」が十五日、都議会議事堂内で開かれた。

「過激な権侵害性教育を許さない！都民集会」と銘打ち、日本の家庭を守る地方議員の会（代表・占賀俊昭都議）が主催、約百五十人が出席した。

会合では、都内の私立高校の教員や小中学生の保護者らが意見発表や事例報告を行った。国分寺市内の小学校に子供を通わせている母親は、子供たちに女性生理用品に赤い液体をたらさせたり、精液に似せた白い液体を作らせたりした性教育の授業を批判した。

また、都民集会の参加者名で同日、横山洋吉教育長あてに過激な性教育の実態について調査することなどを求める要請書を提出した。